

覚えていますか？ 2019年に第9回大会を白川郷で開催した際のテーマは「描こう！ふるさと未来予想図」でした。

あれから4年が経ち、私たちの取り組みはさまざま変わり始めています。ぎふのグリーンツーリズムは、移住者をはじめとする若い世代へと裾野を広げ、新しい担い手による暮らしの創造と連動して、農山村の魅力の再発見と再構築をもたらし、都市に住む方々へのライフスタイルの提案やインパウンドの新しい受入先へと可能性を広げています。

本大会では、新しく動き始めたグリーンツーリズムが、農山村の「未来予想図II」をどう描こうとしているのか、未来の農山村に対してグリーンツーリズムは何ができるかを、共に考えたいと思います。

同時にこの大会が、協議会に集う実践者をはじめとする幅広い関係者の相互交流と情報交換の場として、またぎふのグリーン・ツーリズムの魅力を発信するための更なる飛躍の契機となることを願い、ここに開催します。

描こう！ ふるさと 未来予想図II



NISHWARA BASE (旧西和良小学校)

Keynotespeech

基調講演

ツーリズムを超えて

—暮らしの視点から再構築する農村の幸せ—



徳野貞雄 (とくのさだお)

1949年大阪府貝塚市生まれ、熊本大学名誉教授。食と農の専門家として道の駅を考案・命名した。また、家族や集落の状況を把握し将来を見通す「T型集落点検」考案者としてもよく知られ、「集落ドクター」とも言われる。大学では学べない「農」にまつわる様々な事象について、講義スタイルで行う「トクノスクール」を開催し、日本各地の諸問題について、実際に各地域に赴き、集落調査を実施する活動派研究者である。

グリーンツーリズムは今、移住者をはじめとする新しい担い手とともに新たなステージへと移行を始めています。

過疎化・高齢化する農山村を新しい担い手たちとともにどのように再構築すべきか。私たちは、どんな暮らしの実現に向けてグリーンツーリズムを取り組んだらいいのか。その指針となるお話をさせていただきます。

Panerdiskusshon

パネルディスカッション

3つのコースで学んだこと

「フィールドワーク」「分科会」で学んだ3つのコースの内容を共有しながら、「農山村が取り組むべき農泊やグリーンツーリズム」について、徳野貞雄先生にアドバイスをいただきながらディスカッションします。

Panelist

現地案内人のみなさん

Commentator

徳野貞雄 (熊本大学名誉教授)

Facilitator

三島真 (「ぎふの田舎へいこう！」推進協議会 事務局長)

日本一の鮎！和良鮎の塩焼き付き！



Big exchange meeting 大交流会

1日目の夜には、地元の美味しい料理とともに、講師陣、参加者のみなさんと語り合う大交流会を催します。県内の仲間たちが、年に一度一堂に会するこの機会に、ぜひあなたもご参加ください！

Fieldwork

第1日目
11/16(木)

フィールドワーク

地域の課題、何をどう取り組んだらいいの？実際に日々活動をしている現地エスコーターの方々と共に歩き、語り合い、解決の道を探ります。



第2日目
11/17(金)

Subcommittee 分科会

*前日のフィールドワークを深めるための分科会です。同じテーマをお選びください。

現地エスコーターの方々とフィールドを歩いて感じたことや、疑問を率直に語り合い深めるための分科会です。



第1フィールドワーク

「どこにでもある田舎」なんてない！
「ならでは」を見つける！

地域の価値を再評価する歩き方、見つけ方



代表理事 池戸 邦夫
一般社団法人 西和良まちづくり協議会

郡上市西和良のフィールドをエスコーターの案内で実際に歩きながら、地域資源を見つけるワークショップです。素通りしてしまわず、農泊に活かせる地域の宝の見つけ方を学びます。

こんな人に向いています！

地域の魅力を見つけて発信したい、地域資源の活かし方を考えたいと思っている人

第1分科会

「どこにでもある田舎」なんてない！
「ならでは」の魅力を活かす！

地域資源の活かし方をワークショップする

西和良のフィールドを歩いて見つけた地域資源を活かして、農泊プログラムを実際に作ってみよう！グループワークを通して、地域資源を活かした農泊等のプログラム作りを学びます。



第2フィールドワーク

いいあんばいの田舎で暮らそう！

和良おこし協議会が仕掛けてきたこと



事務局長 加藤 真司
和良おこし協議会

郡上市和良町のフィールドをエスコーターの案内で実際に歩きながら、和良町「和良おこし協議会」がどのように地域の魅力を発信してきたかを学びます。

こんな人に向いています！

移住定住や地域振興を考えている人、効果的な地域での取り組みを実践したい人

第2分科会

「このまちらしい交流」をつくる

地域のポテンシャルを引き出す仕組みづくり

「田んぼオーナー制度」や「鮎釣り教室」、「ホタルツアー」や「はざこ探検隊」など、魅力的なイベントを次々と打ち出す「和良おこし協議会」の魅力を解剖します。



第3フィールドワーク

全部見せます！我が家の民泊見学ツアー

民泊の現場へ行き、そのリアルを聞く



代表理事 永吉 剛
NPO 法人 NATURE CORE

中高生を受け持っている民泊のお母さんやお父さんたち。その現場（ご自宅）へ行き、どんなふうに子どもたちと接しているのか、リアルな実情を聞きます。

こんな人に向いています！

民泊に関心があるがどうしていいかわからない、実際にやっている人から学びたい人

第3分科会

ぼくたちがはじめた手づくり民泊

やってわかった民泊のリアル そこから学んだいくつかのこと

民泊では、お家によってそれぞれ少しずつ違った特徴があります。得手不得手を補い合いながら西和良のみなさんが、どのような苦勞を乗り越えてきたのか。そのリアルを、たっぷり話していただきます。

